

学習内容報告書 フォーマット

学校名	青森市立北小学校
授業者	山本 陽子

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

守ろう！海

1-2. 学年

4 学年

1-3. 教科

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

陸奥湾の海岸の様子を見学・調査・体験して海の大切さを感じとり、海洋ごみ問題に対する興味や関心を高め、今後、自分たちができることについて考える。

～主な活動～

- 学校の隣にある海岸の様子を見学する
- 気になったことや、思ったことから課題を決める
- 海岸清掃を行う
 - ・地域の方や赤十字奉仕団の方と一緒に清掃活動
- 体験をもとに学習計画を立てる
- 図書資料やインターネット、新聞等で海洋問題について調べる
 - ・地引き網漁業体験を行う
- 体験したこと、気付いたこと、調べたことを新聞にまとめる
- 発表会を行い、これからの自分たちができることについて話し合う

1-5. 単元設定の理由・ねらい

児童は日常的に学校の側にある海と触れあって生活している。これまでの生活体験や学校行事での地引き網体験等で海の大切さや豊かさを漠然とは感じてはいるものの、身近で起きている海洋ごみ問題については詳しく知らない。そこで本単元では、「海洋ごみ問題」について、体験・調査・考察することでごみ問題に対する興味や関心をもち、理解を深めさせたい。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・身近な環境に興味をもち、調べたい課題を設定し、見通しをもって追求する力。
- ・図書資料やインターネット等を活用して情報を収集する力。
- ・収集した情報を工夫してまとめる力。
- ・身近なごみ問題について考え、自分たちができることを実行しようとする態度。

1-7. 単元の展開 (全25時間)

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1 5 8 時	<p>海で何が起きているのかを知ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海岸の様子を見学する。 ・見学で気付いたこと、思ったことから調べた課題を決める。 ・インターネットを使って情報を集める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事等を提示して、身近にある海洋問題について関心をもたせる。 ・学校の隣の海岸を見学し、岸壁にたまっているごみに気付かせる。 ・社会科の学習「くらしを守る」との関連を図る。 <p>【教】2 in One パソコン 【教】クロムブック 【評】海岸の様子を見学し、海の良さや海岸にごみが散乱していることに気付くことができたか。</p>
	<p>海岸清掃をしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海岸清掃を行う。 ・集めたごみの種類・量を調べる。 ・海岸清掃を通して気付いたことをまとめる。ごみの種類、ごみの量、地域住民の思い等 	<p>【教】軍手、チリバサミ、分別用ゴミ袋 【教】映像記録機器（デジタルカメラ、デジタルビデオ） 【外】地域住民、日赤奉仕団（奥内分団・後潟分団） 【評】海が汚れる原因について日常の生活やニュース等の情報などから様々な視点で考えることができたか。</p>
9 5 時	<p>海洋問題について調べよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海でどのような問題が起きているか調べる。 海洋汚染 海洋ごみ問題 海洋プラスチック問題 不法投棄問題 油流出による被害 生活排水問題 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・見学や体験を通して気付いたこと、感じたことをもとにテーマを決めさせ、海で起きている問題について調べ学習を行わせる。 ・インターネットでの検索の仕方を指導。 ・図書資料を使った調べ学習の仕方を指導。 <p>【教】海洋関係図書 30冊 【外】市民図書館「テーマ貸し出し」の利用 【評】インターネット、図書資料等を活用して必要な情報を集めることができたか。</p>
18 時	<p>自然とのふれあい学習会から海の恵みを感じよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地引き網での漁業体験をする。 ・陸奥湾にいる生物について知り、海の恵みについて考える。 ・魚の扱い方を知り、捕れた魚と触れあう。 ・体験を通して気付いたこと、感じたことを記録する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地引き網で魚を捕る体験や魚に触れる体験を通して、海の生物や海の仕事に興味をもたせるとともに海を守ろうとする心情を育む。 ・身近な海の良さについて再度考えさせる。 <p>【教】映像記録機器（デジタルカメラ、デジタルビデオ） 【外】奥内漁業研究会、青森市水産振興センター 【評】体験を通して海の良さを感じ、改めて海を守ろうとする気持ちをもつことができたか。</p>

19 5 25 時	<p>海のためにできることを考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの学習を壁新聞形式でまとめる。 発表会をする。 これから自分たちができることを話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 本単元での体験や情報から得た知識を新聞にまとめさせる。 発表する時のポイント（海問題の現状・分かったこと・気づき・人々の想い）を中心に発表させる。 身近な海の利用と、自分たちのつながりについて考えさせる。 <p>【評】 海洋問題の現状や人々の想いを知り、海と自分との関わりを深め、自分がこれから生活する時にできることや気を付けることを考えることができたか。</p>
--------------------	--	---

2. 学習活動の実際

2-1. 単元における位置づけ

単元 25 時間中の 4~7 時間目

2-2. 本時の目標

海岸清掃の体験活動を通して、海洋問題に関心をもたせ、身近な海と自分たちの生活について考えさせる。

地域の人々と協力して清掃活動を行い、一緒に活動してくれた人との触れあいやインタビューを通して「海を守る」活動への意識を高める。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	・教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1. 海岸の見学で気付いたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> いつも遊びにきている海が好きだ。 家族が海の仕事をしている。 先週にも地域で海岸清掃が行われたことを知っている。 岸壁のコンクリートにたくさんのごみがたまっている。 どんなごみが多いのだろう。 海にあるごみはどこから来るのだろう。 <p>2. 海岸清掃を行う</p> <p>①開会式</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学校のすぐ側にある身近な「海」の見学で気付いたことを想起させ、児童に興味をもたせる。 インターネット等で調べた海洋問題についての情報も話題に出させる。 <p>【評】 海岸清掃へ向けて意欲をもつことができたか。（発言）</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の方の協力を得てみんなで海岸清掃を行うという意識を高める。 赤十字奉仕団、地域の協力者との顔合わせを行い、一緒に活動するという意識をもたせる。

<p>②清掃活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミを拾いながら、奉仕団の方々と触れあいインタビューする。 ・拾ったゴミを集め、分別する。 自然物 可燃物 不燃物 プラスチックごみ等 <p>③閉会式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験での気づき、感想を発表する。 ・日赤奉仕団の方のお話を聞く。 ・一緒に活動した方々に感謝の言葉を述べる。 <p>3. 清掃体験についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海岸がきれいになって、よい気分になった。 ・新聞にあったように、プラスチックごみが多い。 ・海の生きものがゴミを食べて被害にあっているということが本当だと気付いた。 ・地域の人や自分たちでゴミを正しく処理しないといけないと気付いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会での役割をもたせることで、自発的に関わろうとする意欲を引き出す。 ・ゴミを集める時の安全面や方法について説明する。 ・地域のため、海のためのボランティア精神について会話や行動を通して感じさせる。 ・分別したゴミの中身を確認して示す。 ・清掃活動で気付いたこと、感じたことを発表させる。 ・協力してくれた地域の人々に感謝を伝える。 <p>【評】清掃や地域の人との交流を積極的に行うことができたか。（態度、発言）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子、ゴミ問題、清掃ボランティア等について活動の様子を作文にまとめさせる。 ・ゴミのほとんどが人工的なもので、自然に還らないものであることを押さえる。 ・ゴミの分別処理の大切さに気付かせる。 ・ゴミはどうすればいいのか、海を守るためにはどうしたらいいのかを投げかける。 ・海で何が起きているのか、もっと知りたいという意欲をもたせる。 <p>【評】身近な海洋問題について、深く考えようとする意欲をもつことができたか。（発言、作文）</p>
---	--

3. 今回の活動の自己評価

<ul style="list-style-type: none"> ・体験を通して考えさせる活動をすることにより、より実感を伴った課題意識をもつことができた。 ・児童の活動だけではなく、地域の方と共に活動することによって、今後の実践に生かせる活動になった。 ・社会科の学習との関連を図ることで、ゴミ分別やゴミ処理の大切さと海を守ることとの関係がより分かり易い学びとなった。 ・情報収集の手段として、インターネット情報や図書資料を多く集められたことが良かった。
--

4. 今後の課題

- ・児童の関心を引き出すきっかけづくりがやや強引であったと思う。社会科との関連を図りつつ、児童の思考に寄り添った自発的な課題設定の仕方をもっと工夫できれば良かった。
- ・海の豊かさ、海の大切さを概念的に学ぶのではなく、実際に漁業関係の方、関係機関の方と直接触れあって感じさせる機会をもたせれば、さらに興味を引き出せたのではないかな。
- ・今回の学習で得た知識や学びを実践に生かすための、継続した取り組みがあればよいのではないかな。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

学校の敷地に隣接する海岸、水産振興センター、地域の日赤奉仕団の協力等がある学校環境での学習展開となる。内陸の学校で行う場合は、児童に課題意識をもたせるために、町のごみ調べ体験や、映像資料等のきめ細やかな教材準備が必要である。